

広島県経済財政会議（テーマ別懇談会） 議事要旨

- 開催日時：平成26年8月5日（火） 15:50～17:15
- 開催場所：広島県庁北館2階 第2会議室
- 出席者：（主宰）湯崎 英彦 広島県知事
（委員）蔵田 和樹 株式会社広島銀行専務取締役、広島商工会議所副会頭
（専門家）高橋 一夫 近畿大学経営学部教授 ※敬称略
- 議事要旨（委員の主な意見等）
懇談テーマ 「人口減少社会における持続可能な地域づくり」について
～～観光を持続可能な地域事業とするために～

懇談会の冒頭、蔵田委員からは懇談テーマに関する提案、高橋委員からは海外での取組事例等について御説明いただいた後、出席者間で意見交換を行った。

委員提案の概要

持続可能な地域づくりを進めるためには、労働集約型で地域への経済効果の高い観光産業を活性化することが効果的と考えるが、観光事業者の多くが他業種と比べて経済基盤が弱い中小企業となっており、新しい投資が生まれにくい環境にある。

このことから、観光事業者への支援と資金供給を行うための民間主体の組織を設立し、行政と連携して取組を進める必要がある。

意見交換での主な意見

- 観光事業者を支援する組織は民間事業者が主体的に運営し、行政は都市ブランド・マーケティングなどブランドイメージの構築に役割を特化するべき。
- 観光事業者への資金供給機能は、ファンドを呼び水としてメザニン¹やシニアローンを活用するという形が良い。
- 自主財源の確保は、決済機能を持つことで対応できる。例えば、キャンセルが出た店舗が、プラットフォームのホームページから割引サービスの情報を発信し、それを見た観光客がスマートフォンでネット決済できるようにすれば、プラットフォームにお金が落ちる仕組みが構築される。
- 民間の立場からすると瀬戸内に呼んだ後に、どの県のどのエリアに呼び込むかは競争である。そういう点では広域の支援組織に加えて、県単位等の組織があったほうが動きやすいのではないかと。
- 民間主導の支援組織が各地にでき、それらが競い合ったり、協力しても良い。

¹ 他の債権に比べ返済順位が劣り、元利金の繰り延べを認めるなどのかわりに金利が高めに設定された融資等